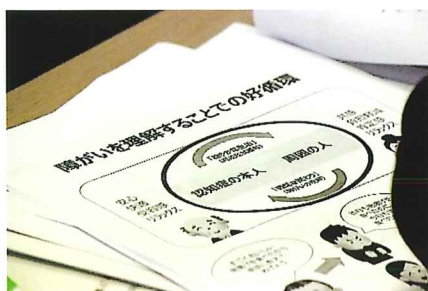


だれもが安心してよりそえる街へ

その人「に」何ができるか、その人「と」何ができるか 認知症とともに生きる

高齢化社会を迎えるにあたって、これから多くの方が直面するであろう認知症についてどのように向き合っていけばよいのか。誰もがとまどいと不安を覚えます。12 月 15 日「認知症とともに生きる」をテーマに、川井丈弘さん(いずみの杜診療所地域連携室室長)を講師として、研修会が開かれました。



まず「宮城の認知症をともに考える会」の動画を視聴。当事者の方々同士が交流することで不安がなくなり、明るい表情で生活されている様子が大変印象的でした。認知症を患う方々がコミュニティに参加することで孤立せず、できないことや苦手なことは共有する知識や工夫で乗り越え、ご自身の出来ることに取り組んでいらっしゃるその様子は、生き生きとして希望に満ちたものでした。講話の後に行われた意見交換を紹介します。

【参加者のみなさんの声】

「今までの認知症のイメージが変わって、他の病気と同じだと感じることができるようになった」

「認知症になったら終わりだと思っていたら、そうではなかった」

「初めて講話を聞きビデオを見て、普通の人と変わらないと思いました」

「自分もなるのかなと心配や不安ばかりを思うのではなく、認知症と限定せずに一般の人と区別することなく努めていく機会を得た」

「認知症を周りに隠すのではなく、助けてもらうために言ってしまう」

「今後わたしたちにできることは？」

「当事者を交えての研修会を開いてほしい」

「実例などを加えての研修会をしてほしい」

「地域で認知症の方々を支える仕組みができるといい」



「まずは知ることが大事です」と参加者の横尾さん。「こういう方法があるんだな」と新鮮な思いで受け止めました。この研修会で終わることなく、2 度 3 度と回を重ねて情報交換を行いみんなで認知症に対する対応や知恵を共有することで前に進んでいきましょう。

【お詫びと訂正】

泉中央地区社会福祉協議会は、市名坂町内会、七北田町内会、友愛町自治会、泉中央町内会、泉中央第一町内会とパークシティの 6 自治会で構成されています。

笑いの絶えないサロンで締めくくり

七北田町内会 野元三恵子

12月のグッパースロンは頭を使ったゲームで大盛り上がり！まずはかるた大会！泉中央地域包括支援センターさんが用意して下さった「ゲキタイかるた ～特殊詐欺には負けねえど！～」。読み札に書かれた特殊詐欺の手口に対する対処法を取り札から探します。誤った対処法の取り札も混ざっているのでよく考えて取らなければなりません。口々に「これは違う」「これだとサギの思うつぼだよ」などと遊びながら、しっかりと学びました。次は「口」に二画足してできる字をどれだけ書ける？・・・田、占、叶などたくさん思いついた人もいれば少ししか思いつかない人もいましたがみんなで思いついた字をあげていくと「ああ、その字があったね」と次々に出てきました。

頭を使って疲れた後は冬至カボチャや大きなクリスマスケーキを食べて糖分補給。そして忘れてはいけない10月の陶芸教室で作った完成品のお披露目会。「このコップでお茶飲むの？」「ビールでしょ！」と、わいわいガヤガヤ！最後まで笑いの絶えない賑やかなサロンでした。



「津軽三味線」太棹の響きに酔いしれる 友愛町自治会 佐々木光一

12月の定例サロン会に三味線奏者の岡崎秀明さんをお招きし演奏会が開かれました。これは「泉中央市民センター」による出前公演によるものです。福祉委員が町内の皆さんへの声掛けに取り組み、41名の参加がありとても盛り上がりしました。津軽の五大民謡である「じょんから節」「おはら節」「よされ節」「あいや節」「三下り」、歌謡曲など体全体に響き渡る太棹の生演奏に皆が聴き惚れました。

最後は、ブルースハーモニカを吹きながら三味線を弾く岡崎さんに参加者一同ビックリ。



■街の風～編集後記～

泉中央町内会 紺野ますみ

風景を撮影するカメラマンによると、仙台で最も新緑が美しいのは5月の連休で、数日違うとダメだそう。春は狙って捕まえに行かないとすると逃げやうきまします。サロンで出会う人とのつながりも同じかもしれません。「いま」「ここ」を捕まえて、心の豊かさを広げるチャンスにしませんか？



この広報紙は福祉振興助成金を利用しています